

令和 8 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 女子

| | |
|--------|--|
| 教科担当者: | A組 田中・當麻 B組 田中・當麻 C組 田中・當麻 D組 田中・當麻 E組 田中・當麻 F組 田中・當麻 G組 田中・當麻 |
| 使用教科書: | 現代高等保健体育 |

教科 保健体育 の目標:

| | |
|----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。 |

科目 体育 の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている | 課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る | 運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---------------------|--|---|---|---|------------------|
| | | | | | | |
| 単元 1 バドミントン | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 状況に応じたラケット操作や安定したシャトル操作を身に付ける | 基礎技術の習得 | 状況に応じたラケット操作や安定したシャトル操作ができる | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 基礎技術を習得することにより、狙ったところに打てる | | 基礎技術を習得することにより、狙ったところに打つことができる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をすす | | 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる | | | | |
| 単元 2 サッカー | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 状況に応じて安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開する | 基礎技術の習得 | 状況に応じて安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開することができる | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 技術的な課題や有効な練習方法の選択をすす | | 技術的な課題や有効な練習方法の選択ができる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| フェアプレイを大切にし、役割を理解しその責任を果たす | | フェアプレイを大切にし、役割を理解しその責任を果たす | | | | |
| 1 学期 定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説 | | | | | | |
| 単元 3 スポーツテスト | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 自身の体力状況を把握し、記録の向上を目指す | 測定種目の目的を理解する | 自身の体力状況を把握できている | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | | | 6 |
| 生活における運動習慣及び生活習慣などの状況を把握して改善のために必要な運動を選択する | | 生活における運動習慣及び生活習慣などの状況を把握して改善のために必要な運動を選択できる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 体力、運動能力を向上させるための知識を身に付ける | | 体力、運動能力を向上させるための知識が身につけている | | | | |
| 単元 4 水泳 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 手と足、呼吸のバランスを保ち伸びのある動作と安定したペースを保つ | 泳法の習得 | 手と足、呼吸のバランスを保ち伸びのある動作と安定したペースを保つことができる | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 泳法に応じた一連の動きにより抵抗の少ないフォームを身に付ける | | 泳法に応じた一連の動きにより抵抗の少ないフォームで泳ぐことができる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加する | | 水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加できる | | | | |
| 定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説 | | | | | | |

令和 8 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 女子

| | |
|--------|--|
| 教科担当者: | A組 田中・當麻 B組 田中・當麻 C組 田中・當麻 D組 田中・當麻 E組 田中・當麻 F組 田中・當麻 G組 田中・當麻 |
| 使用教科書: | 現代高等保健体育 |

教科 保健体育 の目標:

| | |
|----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。 |

科目 体育 の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている | 課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る | 運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|----------------------|---|---|---|---|------------------|
| 単元 5 水泳 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 手と足、呼吸のバランスを保ち伸びのある動作と安定したペースを保つ | 泳法の習得 | 手と足、呼吸のバランスを保ち伸びのある動作と安定したペースを保つことができる | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 泳法に応じた一連の動きにより抵抗の少ないフォームを身に付ける | | 泳法に応じた一連の動きにより抵抗の少ないフォームで泳ぐことができる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加する | | 水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加できる | | | | |
| 単元 6 パレーボール | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 試合を想定した動きの連携を考える | 基礎技術から連携の動きの習得 | 安定したボール操作ができることにより動きの連携から空間での攻防が展開できる | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫する | | チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする | | 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる | | | | |
| 2 学期 | 定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説 | | | | | |
| 単元 7 陸上(ハードル走) | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| インターバルをリズムカルに走る | 基礎技術の習得 | インターバルをリズムカルに走る | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| ハードリングをスムーズに行う | | ハードリングをスムーズに行うことができる | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| お互いに助言し合い、技術の向上を図る | | お互いに助言し合い、技術の向上を図ることができる | | | | |
| 単元 8 持久走 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 自分のペースを守って走ることが出来る | ペースを考えて走る | コースを理解し、ペース配分を考えて走ることが出来る | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | | | | |
| タイム心拍数を測定することで、自分の変化を理解する | 記録用紙 | 心拍数を測定することにより、運動強度について理解する | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 運動強度と自分の体力について理解を深める | | 距離が変わっても、ペースを保ち走ることが出来る | | | | |
| 定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説 | | | | | | |

令和 8 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 女子

| | | | | | | | |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 教科担当者: | A組 田中・當麻 | B組 田中・當麻 | C組 田中・當麻 | D組 田中・當麻 | E組 田中・當麻 | F組 田中・當麻 | G組 田中・當麻 |
| 使用教科書: | 現代高等保健体育 | | | | | | |

教科 保健体育 の目標:

| | |
|----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。 |

科目 体育 の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている | 課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る | 運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|---------------------------|---------------------|----------------------------|---|---|---|------------------|
| | | | | | | |
| 単元 9 持久走 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 自分のペースを守って走ることが出来る | ペースを考えて走る | コースを理解し、ペース配分を考えて走ることが出来る | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| タイム心拍数を測定することで、自分の変化を理解する | 記録用紙 | 心拍数を測定することにより、運動強度について理解する | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 運動強度と自分の体力について理解を深める | | 距離が変わっても、ペースを保ち走ることが出来る | | | | |
| 単元 10 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 3 単元 11 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 単元 12 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 | 次の観点別評価規準に従い評価する。 | | | | |
| 【知識及び技能】 | ・指導事項 | 【知識及び技能】 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力】 | ・教材 | 【思考力・判断力・表現力】 | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ・一人1台端末の活用(場面) | 【学びに向かう力、人間性等】 | | | | |
| 定期考査(学年末考査)/返却と解説 | | | | | | |